

## 看護職員の負担軽減および処遇の改善 目標と評価 2026

連携先	テーマ	目標とアクションプラン	評価
1 看護補助者	1. 看護業務と一部 周辺業務のすみわけ	1. 2021 年度改訂版ガイドラインに則った看護補助者業務の更なる標準化と定着 2. 確実な看護補助業務の実施のための力量向上 1) 教育計画(看護サポート教育計画)を作成し、計画的に教育訓練(ナーシングスキルによる研修と年間2回の集合研修と部署研修年間2回)を実施する。 2) 病棟ごとの看護補助者業務の運用手順書作成(統一できてない部分の洗い出しと修正) 3) 複数部門を担当できる看護補助者増(フロアごとのサポート体制構築) 4) 病棟師長との定期的ミーティング(6月に1回) 5) ナースエイド会での情報交換(2月に1回)	
	2. 看護管理者がガイドラインに対しての理解の浸透	1. 看護補助者配置部門看護管理者の所定外部研修参加 1) 管理者受講年間計画を立てる(佐藤主任・本郷主任) 2. 看護補助者の育成計画をキャリア支援室で立案、実施 1) 看護部会議(師長会)やナーシングスキルによる研修	
	3. 病棟の状況に応じた早番と遅番の配置	1. 状況に応じ配置や働き方に変則性を持たせる 1) 病棟ごとのニーズ調査 2) 変則勤務可能な職員確認と新規採用・人事異動	
	4. 看護補助者の夜間配置(病棟で1名)	1. 看護補助者夜間配置継続に必要な人員の採用。 募集促進; ホームページ、ハローワーク、新聞広告・院内掲示等で募集など	
2. 病棟ク ラーク	入院時サポート入院カルテ整理 承諾書類の整理 入退院時の準備 電子カルテの DPC 入力	1. 定期的な振り返り 2. 電子カルテ入力のサポート業務など新規業務を模索 1) 病棟クランクとの定例会で提示 2) 意見交換	
3. 薬剤師	慢性期病棟への薬剤師の配置	1. 検討	
4. リハビリ	慢性期病棟における、認知症患者・せん妄患者の院内デイへの協力	1. 検討	
5. (CE) 臨床工 学技士	手術室器械だし	1. 手術室配置と業務の検討	
6 管理 栄養士	指示入力	1. 医師の指示を元に、食事箋へ入力する	
7 歯科衛 生士	・口腔ケアプラン ・看護師にケアの継続指導を実施	1. 口腔ケアの質向上の為に看護師への学習会を開催	
8 検査技 師	・病棟血液検査の試験管の準備と検体の回収	1. 深夜帯の検体採取の協力体制を検討	

9 放射線 技師	昨年度の継続	1. 看護師への磁性体、放射線被曝に関する教育研修企画 2. フィルムバッジ管理 3. 二次救急時の搬送のサポート	
10 医療 情報 管理士	カルテ管理やカル テ記載監査	1. 継続	
11 委託業 者	清掃 ごみの回収 未滅菌品回収・配達 汚染リネンの回収 リネンの配布 シーツ交換	1. 無理・無駄のない業務改善と協力を検討	
12 業務課	SPD システム運用 ・看護職が現場を 離れなくても良い 環境 ・看護部備品購入 時、安価で良いも のを早急に準備 ・棚卸を委譲し現 場の負担軽減	1. 資材の臨時持ちだし状況を確認し、看護部門資材定数の見直し 2. 各病棟に棚番・定数適正化を図り、看護職の棚卸作業を簡素化。棚卸業務を委託。 3. 看護部備品購入時への管理課介入システムの評価 4. 定数改訂目的の資材使用量のデータ提供 5. 非常時資材の配達	
13 勤務形 態への 配慮	1. 勤務状況を毎月確認＝確認者を看護部長・看護副部長として適切な勤務表作成を支援している 2. 休憩・休養が取れる配慮	1. 継続 1) 年1回実態調査（聞き取りまたは勤務表から） 2) 部署間の差はないか 3) 看護補助者の活用は適当か 4) 始業前残業の有無 2. ライフワークに合わせて夜勤スタイルを選択できるようにする。継続運用と必要な改善事項を検討する。 3. 日勤常勤制度活用により、心身状況や家庭事情等で夜勤ができなくなっても非常勤にならずにキャリア継続ができるよう支援する。手術室、透析室、病棟でも日勤常勤制度開始に向けた準備として、適応や運用について部長会で議論 4. 希望による配置転換希望を聞き取る仕組みあり	
14Dx 化	勤務表作成	勤務表自動作成の要望提出予定	
15 妊娠・ 育児中 看護職 員への 配慮	制度活用の説明	1. 制度の説明 1) 出産休暇と育児休暇の制度（取得の条件やルール、育休期間で行うこと、復帰前の準備）休暇中でも、健康診断やインフルエンザの予防注射が受けられる事等も 2) 復帰後利用出来る制度（院内保育所・通常・臨時・夜間当直、時短制度について）	

その他：